



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 28-03

9月号

発行 2025 年9月 19日

Chartered 1998

- 川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に立ち返ろう。」
～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～
- 副会長 松川 厚子 国際会長: Edward Ong エドワード・オン (シンガポール)
会計 吉田 公代 主題 “Faith, Love, Action” 『信念、愛、行動』
スローガン “Together Stronger” 『共に、より強く』
- 書記 吉野 勝三郎 アジア太平洋地域会長: 田上 正 (熊本むさしクラブ)
主題 “Act now with faith and love!” 『信念と愛を持って行動しよう!』
スローガン “Contribute to local society together with YMCA and Youth!”
『YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう!』
- 東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)
主題 『ワイズのらしさ再発見』 “Rediscovering Y's Uniqueness”
スローガン Change !

9月の聖句

ローマの信徒への手紙 15 章 13 節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなた方を満たし、聖霊の力によって、あに。。

Now may the God of hope fill you with all joy and peace in believing, that you may abound in hope by the power of the Holy Spirit.
(Romans 15:13)

8月統計(8月23日)

出席者 10 名 出席率 60%

川越クラブ 8月例会報告

会長 利根川太郎

日時:2025 年 8 月 23 日(土)14:00~16:00

会場:川越丸広トリコロール

9月になったというのに連日の35度越えで、関東地方でも猛暑日日数が記録更新だそうです。しかしながら、空を見上げると雲の形がうろこ雲やすじ雲が現れて、少しずつですが秋を感じさせる夕刻もあります。夏の疲れが出てくる頃ではありますが、皆様、体調に気を付けてお過ごしください。

では、8月23日の例会の報告をいたします。

8月例会は気分を変えて、川越丸広百貨店の2階喫茶

店「トリコロール」でお茶会をいたしました。静かな店内で今年度の例会の計画を主に話し合い、メンバーのそれぞれの近況も簡単におしゃべりしていただきました。

参加いただきましたのは、ゲストに五十嵐政二・かほろ様ご夫妻、山崎さん、吉野さん、吉田さん、山本さんと希歩さん、利根川太郎と恵子の9名です。とても楽しい時間でした。

- 2025-2026 年度ロースター注文は、東日本区4部と西日本区1部です。
- カレンダープロジェクトは、18部の購入予定で回答しました。
- 十勝ジャガイモファンには、個別発送分で4箱を購入して協力します。
- 2025-2026 年度の活動計画案について
・卓話 滑川光裕氏(嘉悦大学) 滑川氏のご母堂(英語の幼児教育の先駆者)
担当;吉野 10月例会 10月25日(土))を仮予定
→1月24日(土)に変更有り
・クリスマス例会
担当;山本 12月例会(12月20日(土))を仮予定
・バス旅行(クローバークラブとの研修会)
担当;利根川恵子 3月例会(3月28日(土))を仮予定
・お散歩例会は動物園を仮予定
担当;山崎 4月例会(4月25日(土))を仮予定
・アースディ川越(3月第2日曜日頃)参加予定
・ブルーマルシェ(4月第2日曜日頃)参加予定
担当;会長
- 次回の例会はお芋の試食会を予定しています。
・日時 2025 年 9 月 27 日(土)14:00~16:00
14:00~16:00
・場所 川越YMCA

川越イモの試食を行います。ご参集ください。



リレー随想

教職を目指す大学生を教えて

利根川太郎

高校教員として38年間の勤務を終えて定年を迎え、国立研究開発法人「科学技術振興機構」で6年間務めた後に、ご縁があって城西大学で数学科教育法の講義を受け持つことになり、3年目となります。昨年までは講義のみの付き合いでしたので、学生の皆さんがなぜ教職を目指すのか、卒業後に教職に就いてどのような思いでいるのかあまり知る機会もありませんでした。

今年から、教職課程センターも手伝ってほしいと声をかけていただき、学生が教員採用試験に臨むお手伝いをさせていただくようになりました。その中で、試験対策はもちろんですが、それぞれの志望動機や相談を受けて、彼らがどんな思いで教職を目指すのか、少しずつ触れる機会があります。また、卒業生が訪ねてきて、近況や現場での様子を聞く機会も得られました。その様子を少しお伝えしたいと思います。

私が大学生の頃とは社会情勢も教員をとりまく状況も全く異なっていました。ですので、比較しても仕方がないのですが、私が大学生の頃に比べても、教職を本気で目指す今時の大学生は、総じて大変真剣で真面目です。もちろん教員免許を取りあえず取得したいという学生は昔も今もおりますし、そのような学生を批判するつもりもありません。動機はともあれ「教育実習」を経験すると、教育に関する見方や考え方が大きく変わる学生が少なからずいるようです。3週間の実習を終えて、受け持った生徒から感謝されたり生徒と一緒に成長を感じたりして、改めて志望を強くする学生もいれば、現場のあまりの忙しさと責任に、残念ながら自信をなくしてしまう学生もいます。

教員を目指すそれぞれの学生の動機や背景は申し上げられませんが、中学や高校で出会った先生への憧れや導いてくれた事への感謝、助けられた経験を口にする学生は多いと感じます。子供達と一緒に育つ喜びや充実感、今も昔も教育の本質なのかなと思うところではあります。また、多くの先生方が教育の現場で頑張っているのを感じることもあります。

教育現場にいる卒業生が後輩のために教職課程センタ

ーを訪ねてくれて、話を聞く機会もあります。その時にはやはり教員の多忙さが話題になります。部活動指導で放課後の時間は取られてしまい帰宅時間は遅くなりますし、休日も練習や試合で休めないのが、同期の一般企業就職者から同情されることが多いと言います。彼は、充実していて楽しいと話してくれましたが、昨今の教員志望者の極端な減少や教員の不足状況を見ると、教員の働き方改革が果たして間に合うのか？と心配にはなります。

教職志望者を増やすためとして議論されている教員免許取得の単位数削減などは、どうも見当違いの方策のような気がしてなりません。本気で教育に取り組みたいと希望を持つ学生が、教職に魅力とやりがいを感じられるように、学校の置かれている環境が、学校や教員を見る社会全体の見方を含めて変わっていくと良いのにな、と思う昨今です。

教育に志す学生たちに、少しでも力になれるようにこれからも微力を尽くしていきたいと思います。

国際の舞台から

BF 代表とは？

利根川恵子

皆さんは、BF 代表という言葉、よく耳にしたり、聞いたことがあると思います。つい最近では、インドのベンカティッシュさんご夫妻がBF代表で来日され、川越クラブでも滞在期間の一部をホストして交流を深めました。

BFは、「Building Fellowship」の頭文字なのですが、2022年5月議会において、それまで「Brotherhood Fund」と呼ばれていたものの名前が変更されました。この事業の目的は、クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダーを養成することで、国際レベルの事業です。以前は使用済み郵便切手を集めて整理し、切手市場で換金し基金にあてる方法が主力でしたが、次第に現金による拠出が増えてきているとのことです。

このBF制度から旅費が支給され、ある地域(区)から他の地域(区)を公式訪問するワイズメンをBF代表と言います。この代表には2種類あり、他の地域(区)を10日から30日以上訪問する文化代表と、国際、地域大会への費用の一部が支給される大会代表があります。

実は、川越クラブのメンバーの3名がBF代表に選ばれています。まずは私が2012年1月に文化代表として31日間インド地域に派遣されました。2015年には吉田公代ワイズが大会代表として台湾で開催された国際大会に参加しました。そして、この度、生川美樹ワイズが、11月に文化代表としてスリランカに派遣されることが決まりました。

私は、インドに派遣され、インドのワイズ運動をつぶさに体験したり、見聞したりすることにより、ワイズ運動の意義を深く再認識し、以来、日本国内だけではなく、国際レベルでの役職や事業に進んでかわるようになりました。

スリランカ地区は、アジア太平洋地域の中でも会員数100名程度の小さな区ですが、最初のクラブが1930年にチャーターされ、1973年に、世界で初めて女性の会員を認めたり、古くはイギリスの総督がメンバーであったり、たいへん由緒ある地区です。多民族、多言語、多宗教のなかで、ワイズ運動がいかに展開されているか、ぜひじっくり

観察し、日本における会員増強のヒントを持ち帰ってほしいものです。

また、BF 代表の大きな使命は、自分の国や地域、区、クラブの紹介を行い、訪問国のワイズメンに理解を深めてもらうことも欠かせません。生川さんには、出発前に準備を万全にし、両国のワイズ運動の相互理解を深め、帰国後はワイズ運動の推進役を担っていただくことを期待いたします。経験者としてお手伝いできることは喜んでやらせていただきます。健康に留意なされて、貴重な体験を有意義に遂行なされることを心から祈ります。



スリランカの女性会員第1号のシルビア・ペララさん



2912 年利根川恵子さんがBF代表でインドを訪問した際の写真

YMCA 報告

河合 今日子

～特別支援キャンプ開催～

8 月 23 日から 24 日にかけて、新潟にて特別支援キャンプを実施しました。このキャンプは、日頃から YMCA に通う子どもたちや卒業生を中心に行われ、今年は 15 名のメンバーと 7 名のスタッフ・リーダーが参加しました。

旧浦和センターを出発したバスは、途中で川越のメンバーと合流。「早く会いたいな」と楽しみにしていた子どもも多く、顔を合わせた瞬間には、笑顔と「いよいよキャンプだ！」という元気な声があちこちから聞こえてきました。

移動中は渋滞に巻き込まれる場面もありましたが、車内ではクイズで大盛り上がり。新潟に入ると、広がる青空や田んぼの風景に見入る姿も見られ、自然の豊かさに心を動かされている様子でした。

到着後はお弁当を食べ、水遊びへ。広大な自然の中で響く子どもたちの笑い声が印象的でした。スイカ割りでは仲間を応援する声が飛び交い、見事に割れるとみんなで大喜び。冷えたスイカを「おいしいね！」と笑顔で味わう、楽しいひとときとなりました。

夕食では、大峰館自家製のコンヒカリがふるまわれ、「甘くておいしい！」と、じっくり味わう子どもたちの姿も。たくさん遊んだ分、ごはんをおかわりする子どもも多く、元気いっぱいな様子が見られました。

夜はお待ちかねの花火。火が消えると「リーダー、火つけてください！」と元気に声をかけたり、「火をあげるよ」と自然に助け合う姿もあり、あたたかな関わりがたくさん見られました。

翌朝は 7 時に起床し、散歩や収穫体験へ。池の鯉を眺めたり、大葉を収穫したりと、自然とのふれあいを楽しんでいました。

朝食後は、「来た時よりきれいに」を合言葉に、宿の片付けを実施。布団を丁寧に畳み、ごみを確認しながら、みんなで協力して掃除をしました。

最後のグループタイムでは、カードゲームや折り紙、カラオケなどの活動を通して交流を深めました。中には手作りの招待状を配って自分たちの出し物に招待するグループもあり、招待された子どもたちは照れながらも嬉しそうな笑顔を見せていました。

2 日間のキャンプを通じて、子どもたちは自然の中でのびのびと過ごし、仲間とともに多くの経験を重ねました。思いやりや助け合いの姿が随所に見られ、心温まる素晴らしい時間となりました。



「ボードゲーム&保護者カフェ」

このプログラムは、不登校や生きづらさを抱える子どもたちを対象に、地域で安心して参加できるボードゲーム等あそびの場を提供することがねらいです。また、保護者が少しの時間でも子どもと離れ、同じ境遇の人たちと話せる保護者交流会も隣室で開催します。
チラシをご確認の上、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

「ボードゲーム&保護者カフェ」

日時: 令和7年9月28日(日) 13:00~16:00

場所: 子育て子育てセンター

参加費: 無料

申込は、下記の Google フォームから

<https://forms.gle/ZASsMj1Mb98WQsqg8>

青少年育成埼玉県会議「県民運動活性化助成事業」



学校が苦手な子ども・若者と ボードゲーム



学校が苦手な子を持つ親の 保護者カフェ



2025年9月28日(日) 13:00~16:00

埼玉 YMCA 子育て子育てセンター

所沢市小手指町1-39-11 (YMCA キッズクラブ) 西武池袋線「小手指駅」徒歩7分
※駐車場は限りがあるため、満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。



休憩スペースあり

ボードゲームを多数準備していますが、参加するかしないかは、自由です。
保護者向けに、すぐ隣の部屋で保護者カフェをしています。よかったらお越しください。
お子さんと一緒にボードゲームに参加もできます。

参加費
無料

対象: 学校が苦手な子ども・若者
学校が苦手な子を持つ保護者

申し込み: QRコードよりお申込みください。

主催: 埼玉 YMCA 川越センター
TEL 049-226-2491
kawagoe@saitamaymca.org



ゲスト講師

ボードゲームマスター塔筋真一さん
元川越ボードゲームクラブ店長。
ルールを説明できるボードゲームは500種類以上。子どもからお年寄りまで、遊ぶ方に合わせたボードゲームを紹介してくれます。
好きなゲームは「ウイングスパン」「ito」「タイムボム」

協力

川越不登校親の会

不登校のお子さんを持つ保護者が集まって、ほっと一息おしゃべりする場をしています
第3週あたりの土曜日から日曜日、ウエスト川越南公民館で開催。
詳細は X/Facebook/Instagram「川越不登校親の会」で検索。

編集後記

私は、寒さには強いつもりですが、今年の暑さにはいささか参りました。イギリスやクロアチアは既に涼しくなり、本格的秋だそうで、羨ましい限りです。カナダのトロント郊外の大学に短期留学のため8月末に現地入りした孫からは、27℃で過ごし易いとの報告がありました。埼玉もここ両日は急に涼しくなりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

生川美樹ワイズがスリランカにBF代表として派遣されることが決まったことは、川越クラブとして大変喜ばしい知らせです。今から、帰国後の報告を楽しみにしています。

ロシアとウクライナの戦争、イスラエルとハマスの戦いのガザ地区は正にジェノゼノサイド(大量虐殺)と言える状況です。世界に平和がもたらされる日を心から祈り求めます。

今月も、皆さんの寄稿により、このブリテンが発行できました。ありがとうございます。次月もよろしく願いいたします。(KY)